

令和3年度 事業実績報告書

1、専門課程の状況

高知県ではビジネス系学科への志望者が減少しているとの報告があるが、学生数を維持するために、今年も家庭の経済的な負担を軽減する目的で“高知で学んで高知で働く”をスローガンとして、学生募集に力を注いだ。

令和3年度の入学者数はコンピュータ会計科7名、ITビジネス科24名、医療情報管理科8名、公務員ビジネス科19名、合計入学者は58名であった。

公務員ビジネス科は昨年度より若干減少し、コンピュータ会計科が大幅に減少し、ITビジネス科がかなりの増加でした。この要因は当校のコンピュータ会計科とITビジネス科との合計額は30名から35名を推移しており、今回はITビジネス科に偏ったと思われる。医療情報管理科が昨年並みであったが高知県の医療事務系の学科の学生数は減少しているとの報告があるので厳しい状況は続くと思われる。

全体の入学者は昨年度65名より7名減少した。

近年の傾向として精神的に弱い学生が増えているようで、5月のゴールデンウィーク明けに登校できなくなり、休学または退学する学生が増えている。

高知県は経済的に厳しい状況が続いたが、コロナ禍においても当校の求人数も増加傾向になっている。また、高知県は特に安定した公務員への希望が多いことから、公務員ビジネス科の学生数増加を目指した。

当校の特徴である1年課程の魅力と2年目以降の経済的な特典を今後もアピールする。奨学金の対象学科とであることや近年の合格実績（2年連続1次試験合格率100%）もアピール材料である。

2年課程のコンピュータ会計科、ITビジネス科、医療情報管理科については、学科の募集定員を各20名としたこと及び学科の魅力を再認識してもらい、今後も学生数を安定確保して優れた人材を高知県に輩出するように努力を続ける。

公務員ビジネス科の募集定員を25名にしたこと、公務員合格率の高さ及び経済的な魅力を前面に出して今後も安定した学生を確保する。

就職率については、どの学科も好調で令和3年度卒業生は就職率100%となった。公務員ビジネス科についても17名が進路を確定させ2名が再受験予定。

全学科の就職率は過去8年連続で年度末実績98%以上をなっている。

2、委託教育事業実績

今年度も高知県立高等技術学校のプロポーザルへの参加は、パソコン教室の確保が厳しい状況であるため、プロポーザルへの参加を見送った。来期もプロポーザルへの参加はパソコン教室の確保および教員の配置において厳しい状況である。

3、校友会

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、卒業生を学校へ案内することができず、校友会の活動が停滞している。校友会活動を新たな形で展開させたい。

4、オープンキャンパス及び体験授業

オープンキャンパスの内容を一新させて在學生に手伝ってもらおうなどの計画をした。他校との差別化が重要となるので、できるだけ高校生が興味をもつ内容に変更した。新型コロナウイルス感染症の影響で、今年も夏休み中のオープンキャンパスへの参加は1年生や2年生の参加が少なかった。今後も7月及び8月までのオープンキャンパスに特に力を入れて参加者を確保する。

5、高等学校での進学相談会および業者主催の進学相談会、その他

高知県専修学校各種学校連合会主催の進学相談会に積極的に参加し、学生募集活動を行った。また、各種進学情報会社主催の進学相談会も増加傾向であるので参加した。進学情報会社の主催する進路説明会が増加し、回数も増加しているので、参加人数も増加傾向にあるが、比例して参加費の負担が徐々に増加している。また、WEBの広告を実施した。今後もWEBの広告が増える予定。

6、令和3年度新入生数及び卒業生数

令和3年4月 入学者数

	男	女	計
コンピュータ会計科	2	5	7
医療情報管理科	0	8	8
ITビジネス科	19	5	24
公務員ビジネス科	11	8	19
合計	32	26	58

令和4年3月 卒業生数

	男	女	計
コンピュータ会計科	8	8	16
医療情報管理科	0	5	5
ITビジネス科	8	5	13
公務員ビジネス科	10	7	17
合計	26	25	51

学校法人土佐明青学園
土佐情報経理専門学校